

休日は散策日和 「新潟県・新潟市 万代橋周辺」

少しずつ秋が深まってきた10月上旬、新潟を歩いた。新潟市は人口約80万人の政令指定都市。JR新潟駅・万代口を出ると、少しひんやりとした空気が出迎えてくれた。さすが日本海側と思い身構えるが、動けば温まることを期待して歩き出す。

駅前から延びる大通りを10分ほど歩くと、大きな川が見えてくる。日本最長の川、信濃川だ。この信濃川に架かる万代橋は街中にありながら、クラシカルな姿が目をひく。昭和4年に造られたこの橋は、長さ782メートル、国指定の重要文化財でもある。この橋は新潟の2つの繁華街、万代シティと古町を結んでおり、新潟市街のシンボルとも言える存在だ。

均等に並ぶ白い花崗岩が堅い印象だが、下部のアーチが柔らかい雰囲気を持たせる。橋上には、街灯が架橋当時の姿で再現されている。雪の降る冬の夜に來ればもっときれいだらうな、と思いを馳せつつ橋と川面をぼんやり眺める。

次にもう一つ、新潟を代表するランドマークを訪れた。フェリーターミナルに程近い「朱鷺（とき）メッセ」はホテルや1万人収容可能な展示場、大小の会議室などを兼ね備えた施設。31階（地上125メートル）の展望室には無料で入ることができる。

31階でエレベーターを降りると、まず前方に日本海の青が広がる。空が澄んでいる時には約40キロ先の佐渡島を見ることができる。足元を見れば信濃川が。河川沿いで開催される花火大会の際には、多くの見物客でにぎわうそうだ。四方ガラス張りの展望室から新潟の町をじっくり眺める。

悠々とした信濃川の流れを眺め、おいしい米や魚介を味わうことができる新潟。雪が情緒を深めてくれる冬に、また行ってみたいと感じる町だ。

「海員だより」